

第59回仙台市民総合体育大会・第69回仙台市民剣道大会 要項

- 1 目的 仙台市民総合体育大会は、広く市民の「スポーツ活動への参加機会を提供する」「スポーツ活動を振興する」「体力・競技力を向上する」「生涯スポーツの継続的な実践を推進する」ことを目的とする
- 2 日時 令和6年5月26日（日）受付8時 審判・監督会議8時30分 開会式9時
- 3 会場 宮城広瀬体育館 （青葉区上愛子字松原 39-1）TEL 392-5340
- 4 主催 仙台市 仙台市スポーツ協会
- 5 主管 仙台市剣道連盟 泉区剣道連盟
- 6 後援 宮城県剣道連盟
- 7 参加資格 居住地が仙台市内であるか、勤務地が仙台市内であり、仙台市各区の剣道連盟に加盟している団体。ただし未加盟の団体については、参加料を納入すれば参加を認める。ただし学生剣道連盟に所属する大学生、短大生は除く。
- 8 チーム編成 団体戦の区分は設けない。
チーム編成は選手5人・補員1人とし、4人の場合は次鋒を欠場とし、3人の場合は次鋒・副将を欠場とする。
- 9 試合 ①全日本剣道連盟剣道試合・審判規則、および同細則によって行う。（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法）を適用する。
②トーナメント戦で行う。
③団体戦の試合時間は4分3本勝負とし、勝負の決しない場合は引き分けとする。勝者数、取得本数共に同数の場合は、代表者戦（4分1本勝負）を行う。延長戦は3分ごとに時間を区切って行う。また延長2回ごとに3分の休憩を入れる。
④個人戦は男子4段以上、3段以下の2部門とし試合時間は4分3本勝負とし、勝負の決しない場合は勝負の決するまで延長戦を行う。延長戦は3分ごとに時間を区切って行う。また延長2回ごとに3分の休憩を入れる。
女子個人戦は区分を取り除き開催する。試合時間は3分3本勝負とし、勝負の決しない場合は勝負の決するまで延長戦を行う。延長戦は2分ごとに時間を区切って行う。また延長2回ごとに3分の休憩を入れる。
- 10 表彰 優勝チームには、優勝旗・賞状・賞品を二位、三位チームには賞状を授与する。
*前回の優勝チーム・優勝者は、優勝旗を忘れずに持参すること。
- 11 参加料 1チーム6,000円。個人戦1,000円当日の受付時に納入すること。
- 12 申し込み 別紙申込書に記入の上、5月14日必着で申し込みすること。
983-8543 宮城野区東宮城野3-1仙台工業高等学校内 仙台市剣連事務局 高橋広幸宛
- 13 その他
 - ①参加団体は赤白の目印およびオーダー表を持参すること。オーダー表の大きさは模造紙4分の1の大きさ（縦27cm横78cm）に墨書（パソコン書も可）したもの。
 - ②本大会は、9月23日に石巻市ビックバンで行われる宮城県市郡対抗剣道大会の仙台市代表チームの選考資料とします。
 - ③救護については応急措置のみとなりますので、保険には各自で加入すること。
 - ④審判員について、出場団体で審判員のご協力をお願いします。審判可能な方の推薦をお願いします。（各団体1名～2名。選手兼任でもかまいませんが、団体戦・個人戦両方に出場選手は不可とします。）
 - ⑤今後の感染症の感染状況により大会を中止又は延期することがありますので、申込用紙に代表連絡者を必ずご記入すること。

⑥感染症の感染予防のため当日朝に検温を行い、当日発熱（37.5 度以上）や風邪症状等のある方は出場を見合わせて頂きます。

⑦会場内でのマスクの着用については個人の判断に委ねますが、選手については試合時には面マスクを着用するか面マスクを着用しない場合はマウスシールドの着用を義務づけとします。